



支離滅裂な政府答弁

邦人の乗っていない船

昨年五月、安倍首相は「海外で紛争が発生。邦人を輸送している米艦が、日本近海で攻撃されたら守れるようにするのが集団的自衛権」と説明した。

ところが八月26日、中谷防衛相は「邦人が乗っているかは判断の要素の一つ。絶対的な物ではない」と答弁。

矛盾を追及されると「総合的に判断する」と。つまり、その時々勝手に決めるのだ。

結論ありきの消化試合

こうした政府の態度について、26日のTBSのNEWS23でコメントした姜尚中氏は「アメリカとの約束を先行させ、それを守る為の結論ありきの消化試合。国会も、国民主権もないがしろに、

立憲主義も外して良いとしている」と批判。

世界中で武力行使

積極的平和主義の提唱者ガルトウング氏は

「安保法案が成立すれば、日本は米国と一致協力して世界中で武力行使する。そうなれば、必ず報復を招く。日本の安全が脅かされる」と述べている。

元最高裁判事も

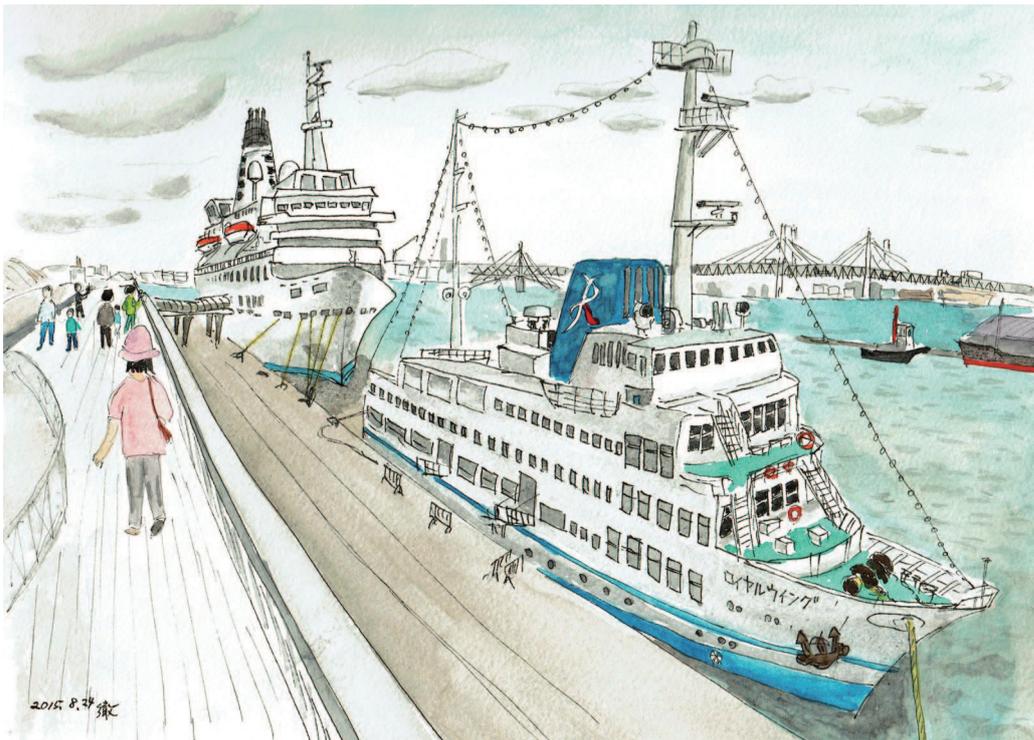
26日、「戦争法案を廃案に」と法曹界・学者三百人が集まった。元法制局長官や元最高裁判事も「戦争法案は憲法違反で廃案しかない」と声を合わせた。

八月30日、国会包囲十万人、全国百万人行動を総がり行動実行委が呼びかけている。

みなさんはどう思われますか？

クルーズ船

大棧橋
横浜港



夏休みとあって、大棧橋にはクルーズ客船が次々と停まる。この日は商船三井の「にっぽん丸」が一日停泊する筈。そんな訳でカメラを抱えた人が沢山待ち受けていたが・・・にっぽん丸は台風十六号の為、次の寄港地小樽に向けて早くも出港。

よく大棧橋で見かけるロイヤルウィングが停泊。ランチ、ディナークルーズの船がこの日は月曜日とあってお休み。この船は、元は大阪と別府を結ぶ瀬戸内海航路に就航。一九六〇～七〇年代の新婚旅行のコースの一つ。昔、その航路に乗った人もいるだろう。

スケッチを始めたなら、二万トンという大きな「ぽしふいっくびいなす」が入港した。夏休み東京湾クルーズで夕方出港し、翌日午後には戻ってくると云う。